

浅海干潟研究部の研究概要（令和4年度実績）

1 有明海・八代海赤潮等被害防止対策事業

【概要】

閉鎖性海域である有明海及び八代海の環境特性を把握するとともに、赤潮等による漁業被害の防止、軽減対策に必要な知見を得ることを目的としています。

- 赤潮調査
- 水質調査
- 貧酸素調査



漁業調査船ひのくに



赤潮調査



有害プランクトン
(カレニア ミキモトイ)

2 漁場環境モニタリング事業

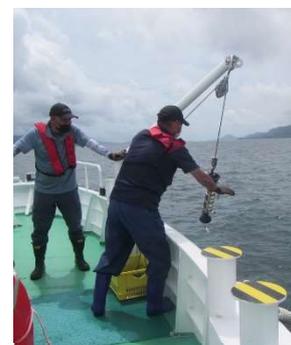
【概要】

有明海、八代海等漁場における海況を周年にわたり把握することにより、漁海況の変動を予測し、特異現象の早期発見や各種施策のための基礎資料を得るとともに浦湾域養殖漁場の環境を把握し持続的な漁場利用の知見を得ることを目的としています。

- 有明海、八代海定点調査（大潮時）
- 浦湾（養殖漁場定点）調査
- 漁協等に対する調査結果の提供



水質自動分析装置



船上での採水作業

3 環境変化に適応したノリ養殖技術の開発（ノリ品種）

【概要】

養殖ノリの減産要因となる高水温や低塩分及び低栄養塩等に耐性があり、かつ生長性の優れた品種を選抜育種し、ノリ養殖生産の安定化や効率化を図ります。

また、当センターが既に保有している養殖株の環境変化に対する適応性を評価します。



ノリの養殖試験

さらに、水温、比重、栄養塩量などの漁場環境に関する情報やノリ養殖情報等をノリ養殖業者の方に提供するとともに、適切な助言を行っています。

- ・室内における環境負荷選抜試験及び野外陸上水槽養殖試験
- ・ノリ漁場の栄養塩調査と漁業者への情報の提供

4 重要二枚貝資源モニタリング事業

【概要】

本県の重要な水産資源であり、環境浄化機能も有しながら、近年減少が著しいアサリ、ハマグリ等の二枚貝資源の回復を図るため、調査及び増殖技術開発を行っています。

- ・河口域におけるアサリ等の生息状況、底質環境調査
- ・河口域の浮遊幼生調査
- ・資源管理方策の報告、指導



アサリ生息状況調査

5 水産養殖漁場赤潮等広域監視システム技術開発事業

【概要】

八代海の浦湾養殖漁場を中心に水温、塩分、クロロフィル量などを連続観測できる「自動水質監視テレメーターシステム」と新たな有害赤潮プランクトンの検知方法の一つとして赤潮カメラ等を併せて設置することで、広域の水質データ及び赤潮情報を効率的に収集、公表するシステムの構築を行っています。

- ・テレメーターを活用した水質情報の提供
- ・関係機関分担による定期的な浦湾環境調査
- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所等との共同による広域的赤潮監視システムの開発



テレメーターシステムの外観

6 有明海・八代海再生事業（有明海特産魚介類増産技術開発、二枚貝母貝場造成）

【概要】

有明海特産魚介類の資源回復を図るための技術開発を行っています。また、アサリ、ハマグリ、タイラギについては、持続的かつ安定的な資源の利用が図られるよう、母貝場の管理手法を確立を目指しています。

- ・人工稚貝の種苗生産、中間育成等の増産技術開発、放流試験、浮遊幼生調査
- ・母貝場の機能効果調査と管理手法の確立



タイラギの中間育成状況